

平成23年 7月26日  
警 察 庁

## 被災地等における犯罪情勢

被災地においては、被災後の混乱に乗じて相当数の発生がみられた空き巣、出店荒らし、自動車盗といった犯罪は、震災から時が経つにつれて落ち着きをみせているが、被災地を含む全国において、震災に便乗した義援金名目等の詐欺や悪質商法といった犯罪が発生している。

(参考1) 被災3県における刑法犯認知状況（平成23年3月～6月）

	H23.3～6	H22.3～6	前年同期比
刑法犯認知総数	14,088	17,185	- 3,097 (- 18.0%)
凶悪犯	68	100	- 32 (- 32.0%)
粗暴犯	542	654	- 112 (- 17.1%)
窃盗犯	11,132	12,826	- 1,694 (- 13.2%)
侵入盗	2,161	1,880	+ 281 (+ 14.9%)
乗り物盗	3,543	4,088	- 545 (- 13.3%)
非侵入盗	5,428	6,858	- 1,430 (- 20.9%)
知能犯	328	600	- 272 (- 45.3%)
風俗犯	86	134	- 48 (- 35.8%)
その他	1,932	2,871	- 939 (- 32.7%)

※ 警察署の被災や現場対応等により入力が遅れている可能性がある。

※ 本資料の数値は暫定値である。

特異な事例

- 空き巣 882件（前年同期比 +266件）
- 出店荒し 351件（前年同期比 +141件）

(参考2) 震災便乗犯罪

- 義援金等名目の詐欺  
6月30日までに全国で51件を認知、このうち25件を検挙。
  - ・ 被災者への寄付金を装った振り込め詐欺事件（3月18日、警視庁において1名を通常逮捕）
  - ・ 被災者をかたる振り込め詐欺事件（4月6日、長野県警において1名を通常逮捕）
  - ・ 被災者対象の融資保証金詐欺事件（6月16日、岩手県警において1名を通常逮捕）
- 悪質商法等の検挙事例  
6月30日までに8事件について被疑者を検挙。
  - ・ 放射性物質の体外排泄効果をうたった無許可医薬品販売事案（4月5日、警視庁において2名を通常逮捕）
  - ・ 被災事業者をかたった粗悪な海産物の電話勧誘販売事案（5月30日、北海道警において3名を通常逮捕）